

# 桜淵公園 WORKSHOP NEWS ワークショップニュース

「みんなの桜淵公園リノベーションプランづくり！」  
～新城の顔となる公園をみんなで魅力的に生まれ変わらせよう～

市では、桜淵公園をより魅力的に生まれ変わらせる再整備を進めていくため、「桜淵公園再整備基本計画ワークショップ」と題して、4回にわたり、地域の方々と一緒にワークショップを行いながら計画を進めています。10月18日には第2回のワークショップを新城市青年の家で行いました。前回と同様に4つのグループに分かれ、グループ毎にエリア別にみた公園に対する意見や要望などについてたくさんの意見を出し合いました。どのグループも活発な意見交換が交わされ、最後はグループの代表者の方に発表していただき、全員の意見を共有しました。今回のワークショップの様子をニュース形式にまとめたのでご覧ください。

お問い合わせ先  
新城市 産業立地部  
観光課  
TEL:0536-32-0516



まとめの詳細は裏面へ！

第2回ワークショップ 2014/10/18 (土) 9:00～12:00 参加者 23名 「桜淵公園の再整備イメージを方向づけよう！」

## ワークショップの全体スケジュール

## 第2回ワークショップのまとめ ～ 桜淵公園の「再整備テーマ案」と「ゾーニング(公園の大まかな土地利用)案」～

- 第1回 ワークショップ [9月27日(土)]** 済
- 「桜淵公園の現状の課題を整理しよう！」
- ・ワークショップの目的やスケジュールについての確認
  - ・計画地の現状をみんなで確認(現地見学)
  - ・グループ意見交換
- 第2回 ワークショップ [10月18日(土)]**
- 「桜淵公園の再整備イメージを方向づけよう！」
- グループ意見交換
- ・公園内の3つのゾーンの利用イメージ
  - ・桜淵公園の全体再整備テーマについて
- 第3回 ワークショップ [12月7日(日)](予定)**
- 「桜淵公園の再整備プランを考えよう！」
- グループ意見交換
- ・桜淵公園の全体再整備テーマについて
  - ・市民いこいのプール跡地利用について
- 第4回 ワークショップ [2月上旬～中旬](予定)**
- 「桜淵公園の再整備プランを確認しよう！」
- ・これまでの意見を反映させた公園の最終プランの確認
  - ・公園と地域の関わりを考え、どんな活用を行っていくとよいか(グループ意見交換)

テーマ	[Aグループ] 「桜淵公園は桜だけでないでん! 楽しみモリモリ公園」	[Bグループ] 「老若男女安心安全公園」	[Cグループ] 「人が集まる 楽しめる公園」	[Dグループ] 「桜と水と人の王国づくり」
検討結果				
Aゾーン	<b>【憩いの花見ゾーン】</b> ・花見観光(花月橋、藤棚、水神池等) ・児童広場(遊具の芝生広場) ・観光、おもてなし(笠岩付近、対岸でカフェ等)	<b>【観光+地元民のゾーン】</b> ・道路の拡幅、バリアフリー化 ・芝生広場に遊具と多目的トイレ整備 ・暗さの解消(竹林の管理、街灯整備) ・水神池の植栽手入れ、池の水を張る	<b>【観光客も子どもも安全に楽しく過ごせるゾーン】</b> ・芝生広場に遊具を集約し、トイレを充実させる。広場や散策路ベンチを配置する ・水神池に水を張る(子どもの水遊び場) ・川沿いの散策路の整備(花、ベンチ)	<b>【川沿い散策/地域あそびゾーン】</b> ・川を眺められるベンチや散策路を配置 ・カヌー等のレジャースポーツが出来る場 ・芝生広場は地元の子どもの遊び場
Bゾーン	<b>【スポーツ・イベントのゾーン】</b> ・バーベキュー(プールの跡地利用) ・スポーツ(サッカー、バスケ等) ・イベント(軽トラ市)	<b>【運動・広場ゾーン】</b> ・いこいのプールの代わりに、子ども用プールや砂場を整備 ・遊具は撤去し、Aの芝生広場に集約	<b>【アクティブに動くゾーン】</b> ・遠方からも集客できる場として、BBQ場や、見て食べて遊べる商業施設を配置 ・アスレチックや自然探検コースを設ける	<b>【拠点/子供遊び/集客/多目的/親水ゾーン】</b> ・観光客を集客できる施設(花見、遊具等) ・子どもの水遊び場、キャンプ場、広場等 ・高齢者で集まってお喋りできる場
Cゾーン	<b>【みんなのカルチャーゾーン】</b> ・散策(うでこき山、重川池等) ・バンド、ダンス(レストハウス、グラウンド利用) ・幼児の遊び場(池を再整備して水遊び場)	<b>【文化と教養のゾーン】</b> ・レストハウスを耐震化し、自然博物館として活用 ・既存施設の連携を考え一体的に整備	<b>【憩いのゾーン】</b> ・憩いの場として飲食販売施設がほしい ・子どもやペットも楽しめる(ドッグラン) ・うでこき山や重川池へのエントランス	<b>【拠点/憩い/景観/運動ゾーン】</b> ・地域の子どもの高齢者、親子がふれあう場(笠屋建民家、児童館、体育館) ・公園を見下ろす景観を活かす(おもてなし) ・うでこき山、風切山への案内機能
全体	・Dゾーン： <b>【水辺遊びとモミジのゾーン】</b> 水辺利用(カヌー等、釣り、泳ぐ) モミジ観光(植栽、遊歩道整備) ・全体：散策路整備	・公園利用のルールやマナーの周知 ・案内板やサインを充実させる ・「花の会」の協力で植栽を充実させる	・BBQ やカヌーは利用ルールを提示する ・長期的な視点と短期的な視点で検討する ・市民や利用者の窓口が必要(管理人)	・利用者を案内する拠点(ビジターセンター)や売店、休憩所があると良い ・子どもが自然遊び体験できる場がほしい

**■ 桜淵公園を3つのゾーンに分けて考えました！**

今回は、桜淵公園を下図のように3つのゾーンに分け、公園の大まかな土地利用として「誰がどんな風に利用するか」を考えました(ゾーニングという)。

**Aゾーン**  
豊川右岸

**Dゾーン**  
※(A)グループのみ

**Bゾーン**  
豊川左岸  
～県道69号

**Cゾーン**  
県道69号  
～重川池周辺

**おまけ**

**【ワークショップについて】**前回のワークショップ後、普段の生活の中でも公園と言うものを意識しながら生活した/桜淵公園が楽しく安心安全に利用できる日が近づいてきていることを実感する/世代を超えたワークショップで、幼児から高齢者まで楽しめる桜淵公園が再整備されるのが楽しみ/“公園を良くしたい”という参加者の思いが伝わる/参加者から若い子の意見が大切といただき、本当に嬉しかった。/家族で行ける、行きたくなる自然公園としたい/出た意見がどこまで反映されるのか楽しみ/本日の配布資料、会議通知文書を事前に送付してほしい/次回も参加したい。

**【内容について】**ゾーニングによって、公園の多様な魅力が再確認できた/具体的なゾーン活用検討により再整備に必要なこと、公園の方向性が明確になってきた/桜の位置付けの後、全体のゾーンを考えた方がよい/外国の方の意見を聞いたり、公園利用者の要望調査をしてはどうか/ゾーン周辺の住民の生活との関係に十分配慮する必要がある/安全安心な道路・歩道が必要だと思う/集客力向上のための目玉施設(飲食店等)を考えるべき/整備したところで管理ができれば意味がない/管理事務所が必ず必要/再整備の前に事務立ち上げの準備が出来ていることが重要/珍しい植物や花の鑑賞を公園に活かしてはどうか。などなど

主に地域の利用を対象

主に広域からの集客を対象





**A 班**

**○Aゾーンについての意見**

- ・観光要素が多いゾーンなので、おすすめ花見ルートを紹介すると良い。
- ・桜淵公園には、主に6種類の桜が存在している。ソメイヨシノが最も多く、他にエドヒガン、ヤマザクラ、ヤエザクラ、フジザクラ、ウスズミザクラがある。
- ・コーヒーなどを飲みながら休める場所は地元利用者にも観光客にも必要。

**○Bゾーンについての意見**

**【バーベキュー】**

- ・豊川を眺めながら、家族や友人とのバーベキューができると良い。  
(候補地は木陰プラザの裏とプール跡地の2箇所。河原だと水の事故が起きかねない。)
- ・バーベキュー専用の場所や利用ルールを定め、管理人を配置して利用マナー(音、ゴミ、臭い、トイレ)を徹底する。

**【グラウンド】**

- ・予約等の面倒な手続きが不要で、気軽にサッカーなどができる場所があると良い。
- ・軽トラ市やスポーツ大会(新城マラソン、ツールド新城)などのイベントを開催する。
- ・木陰プラザは集合場所や休憩所として利用。西端の空き地は、今後も臨時駐車場。もう少し明るくなると良い。

**○Cゾーンについての意見**

- ・トイレの位置を見直し、新設した方が良い。
- ・芝生の部分には幼児用の遊具を設置する。
- ・池を”ギョギョランド”のような子どもの水遊び場にしたい。
- ・駐車場の整備が必要。
- ・散策路と関連付けて子育て世代や高齢者の健康管理ができるような施設があると良い。
- ・庭野排水池の周辺には、ササユリが自生していたり、以前はホテルも飛んでいた。

**○Dゾーンについての意見**

- ・無料の釣場としてもっとアピールしてはどうか。水辺利用についてのマナーやルールづくりをする。

**○公園全体についての意見**

- ・子連れで散歩ができるようにしたい。高齢者の散歩コースとして利用したい。
- ・園路の舗装を良くしてほしい。特に笠岩橋の急傾斜の階段と斜路の改善が必要である。



**B 班**

**○Aゾーン「観光+地元民のゾーン」についての意見**

- ・狭小道路の拡幅や側溝整備、歩道整備、バリアフリーに関する整備を行う。
- ・メイン園路としてのしっかりとした整備が必要。特に、子ども園の園児や小学生の通学路として利用されているので狭いと危険である。

- ・このゾーンは竹林もあり、全体的に暗い。竹林は所有者と相談してタケノコ掘り(体験)を企画してはどうか。また、将来的に市に買い取ってもらってはどうか。
- ・自然エネルギーによる街灯の整備を行う。
- ・桜の時期のライトアップの時間を延長する。
- ・こどもの広場は、芝生広場に遊具を集め、多目的トイレやおむつ替えの台なども整備する。
- ・バリアフリーについては、階段やスロープで一体的に整備する。
- ・植栽については、公園の中心部に3月末~4月初めに咲く桜を植樹する。
- ・水神池に水を溜めたり、植栽の手入れを行う。

**○Bゾーン「運動・広場ゾーン」についての意見**

- ・いこいのプールは一部残して存続できないか(例えば、子ども中心のプール、ビーチ(砂場))。
- ・現在の遊具は撤去し、芝生広場に集約させる。
- ・運動広場は概ね現状のままで良い。

**○Cゾーン「文化と教養のゾーン」についての意見**

- ・レストハウスは耐震補強して自然博物館として再利用する。
- ・今ある施設(釜屋建民家等)と施設間の連携が図れるよう一体的に整備する。

**○公園全体についての意見**

- ・公園全体の案内板、看板を充実させる。(現在は不十分)
- ・公園全体のルール・マナーを周知させる  
(みんなで楽しみながら看板作りを行うのも一つのアイデア)
- ・「花の会」の協力で植栽や植樹を充実させる。
- ・公園全体として、老若男女が安心して使える公園としたい。



**C 班**

**○Aゾーン「観光客も子どもも安全に楽しく過ごせるゾーン」についての意見**

- 【芝生広場】川沿いからつながっているの、子どもと観光客をメインターゲットとして考える。散策路や広場には、ベンチや遊具を配置する。トイレを充実させる。
- 【水神池】池に水を入れて、小さい子どもでも安心して水遊びできる場として整備する。
- 【川沿いの散策路】川沿いに花があると良い。景観の良い場所にベンチを配置する。

**○Bゾーン「アクティブに動くゾーン」についての意見**

- ・遠方からも人を集めることができるようなエリア。アスレチックなど自然探検が出来るコースを設定する。今ある資産や資源を有効活用していくべき。
- 【プール】『見る・食べる・遊ぶ』をテーマに、商業施設として集客を考えていく。バーベキュー施設、飲食店舗。地盤に問題の無い方のプールだけでも使えるようにしてはどうか。
- 【グラウンド】各種スポーツを実施できるようにしたい。
- 【笠岩橋上流付近】蜂の巣岩あたりの鍾乳洞の紹介。昔は川に飛び込んで遊んでいた。

**○Cゾーン「憩いのゾーン」についての意見**

- ・秋(7~10月)に人目をひくような植物がほしい。珍しい植物(スネークメロン(へびうり)、コウフクノスズ、キョウリユウカボチャなど)を植える。
- 【いこいの広場】生ビールなどが飲める飲食の販売施設(店舗)がほしい。子どもやペットも一緒に楽しめる場(ドッグランなど)や芝生でフットサルができると良い。
- 【テニスコート】レストハウスの耐震補強をどうするか?
- 【青年の家・体育館】リニューアルして多くの人が使えようとする。
- 【うでこき山や重川池とのつながり】重川池は静かで良い場所。小鳥のさえずりも聞こえる。Cゾーンは山へのエントランスとしての機能を持つ
- 【豊川および河川敷】バーベキューや水遊びについての利用ルールをつくる。カーユーザーのための駐車場や体験会、レンタルなど地域で取り組み、遠方客を呼び込む。

**○公園全体についての意見**

- ・ここから町がにぎやかになっていくような公園にしたい。
- ・市民や利用者にとっての窓口が必要。みんなの思いを実現し、長期的に存続したい。
- ・長期的な視点と短期的な視点が必要。これが大切! / 市民やボランティアの関わり方を検討



**D 班**

**○Aゾーンについての意見**

**【川沿い散策ゾーン】**

- ①全体・川を見ながら散歩(ベンチ) ②新城観光ホテル周辺(空き家や粗大ごみの撤去/桜淵公園内の豊川右岸を連続的に第1休養園地区として見直す) ③さくら別館周辺(レジャースポーツができる場所)
- 【地域あそびゾーン】 ①芝生広場(こども園、地元の人を対象とした遊び場所/ボール遊びや道具を利用)

**○Bゾーンについての意見**

- 【拠点ゾーン】木かげプラザ(ビクターセンター機能/高齢者で集まる場)
- 【子供遊びゾーン】 ①芝生広場(遊具で遊ぶ芝生広場として再生/広域利用者も対象とした遊びの広場)
- 【集客ゾーン】 ①商業施設(観光客の集客施設/花見を楽しめる場所/公園の一体利用を促進)
- 【多目的ゾーン】 ①広場(今の機能を維持、ベンチ等休憩場所、イベント運営) ②会議室・更衣室等の付随施設
- 【親水ゾーン】 ①プール跡地(親子や家族で安全な水遊び場所、その他広場、駐車場、花壇、キャンプ等)
- 【駐車場ゾーン】既存の機能と規模を維持したい/有料化の検討

**○Cゾーンについての意見**

- 【拠点ゾーン】 ①青年の家(ビクターセンター機能、常駐の管理人)
- 【憩いゾーン】 ①芝生広場(グラウンドゴルフ等スポーツ利用、シンボルツリー) ②釜屋建民家(お年寄りから子どもへ伝承遊び) ③その他(児童館)
- 【景観ゾーン】 ①レストハウス(リニューアル、ご飯でも食べながら地域の紹介) ②その他(景観を楽しむ)
- 【運動ゾーン】 ①青年の家体育館(家族で室内運動) ②ハイキングコース入口(うでこき山、風切山への案内機能)

**○公園全体についての意見**

- ・利用者を案内する拠点(ビクターセンター)の整備/売店等飲食できる場所や休憩所をもっと多くしてほしい/子供たちに自然遊びを体験させる場所がほしい/イイギリナンテンを植えることもキレイで良い/雑草の手入れやゴミ拾いの徹底が必要/施設の取捨選択を行い、不要な施設は撤去したい(まずは個々の施設の利用率が知りたい)

**○テーマについての意見**

- ・整備計画の順位を明確に。最も優先すべきは、桜など植栽のメンテナンスや更新である。
- ・利用者が満足する公園としたい。また、豊川の水のイメージも大事にしたい。



次回は、いよいよ桜淵公園の再整備プランづくりです!!